

# 直売所等でのブドウのおすすめ品種

## 1 はじめに

本県のブドウ栽培は、市場出荷用として、県推進品種の‘シャインマスカット’、‘サニールージュ’、‘ブラックビート’、‘藤稔’の4品種を中心に面積が拡大しています。今後、農家所得を向上するためには、直売所やネット通販等での販売や販売期間拡大のため、早晩生などの特性を持った、新しい品種の導入が必要です。今回、市販の約40品種を栽培して生育特性や果実品質等を調査し、直売等に有望な8品種を選定したので紹介します。

## 2 技術内容

### 1) 果実品質・生育特性

各品種の栽培は、ビニールハウス（30m×8m）で遮根シートを用いた根域制限栽培（土量 200ℓ/樹）とし、短梢一文字整枝としました。また、各品種はジベレリンによる無核化処理と傘かけを行いました（図1）。

有望品種は8月中～下旬ではハニービーナス（緑）、高妻（黒）、しまねスイート（緑）、9月上～下旬ではオリエンタルスター（黒）、サンヴェルデ（緑）、クイーンニーナ（赤）、紅環（赤）、ウィンク（黒）です。これらの品種は着色が良く、裂果が少ない品種です。（表1）。



図1 ブドウ栽培ハウス

表1 ブドウの果実品質と特性

（2014年※、2015年調査）

品種名（育成地）		種	果実品質		特性
ハニー ビーナス （農研機構）		巨峰系 4倍体	収穫期	8月中旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裂果が少なく、甘みが強い</li> <li>・無核化のために、満開10日前に200ppm ストリーブトマイツ、満開14日後に5ppm 赤クワフェニロン処理を行う</li> </ul>
			糖度	20.5	
			房重(g)	360	
			粒重(g)	8.2	
たかつま 高妻 （長野県：山越氏）		巨峰系 4倍体	収穫期	8月中旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花振いが少ない</li> <li>・大粒で房揃いが良い</li> <li>・濃厚な食味</li> <li>・着色良好</li> </ul>
			糖度	16.5	
			房重(g)	574	
			粒重(g)	18.4	
しまね スイート （島根県）		欧州種 2倍体	収穫期	8月下旬※	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花振り、裂果が少ない</li> <li>・渋み、酸味が少ない</li> <li>・皮ごと食べられる。</li> </ul>
			糖度	17.1	
			房重(g)	381	
			粒重(g)	13.3	

◎ オリエンタル スター (農研機構)		欧州種 2倍体	収穫期	9月上・下旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着色良好</li> <li>・脱粒しにくく、裂果が少ない</li> <li>・日持ちがよい</li> <li>・酸味が少ない</li> </ul>
			糖度	19.5	
			房重(g)	520	
			粒重(g)	11.3	
◎ サンヴェルデ (農研機構)		巨峰系 4倍体	収穫期	9月上旬*	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花振り、裂果が少ない</li> <li>・渋み、酸味が少ない</li> <li>・サビ果を防止するために、花冠を取り除く</li> </ul>
			糖度	18.2	
			房重(g)	617	
			粒重(g)	12.9	
◎ クィーン ニーナ (農研機構)		巨峰系 4倍体	収穫期	9月中旬*	<ul style="list-style-type: none"> <li>・樹勢が弱く、花振いがみられる</li> <li>・着色良好</li> <li>・ハチミツのような甘さ</li> </ul>
			糖度	21.6	
			房重(g)	332	
			粒重(g)	12.2	
べにたまき 紅環 (植原ぶどう研究所)		欧州種 2倍体	収穫期	9月中旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・裂果が少ない</li> <li>・渋み、酸味が少ない</li> <li>・淡い紅色の果皮</li> <li>・皮ごと食べられる</li> </ul>
			糖度	17.6	
			房重(g)	540	
			粒重(g)	12.4	
ウィンク (志村ぶどう園)		欧州種 2倍体	収穫期	9月下旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・果梗が長く、摘粒が容易</li> <li>・裂果、脱粒が少ない</li> <li>・着色良好</li> </ul>
			糖度	18.0	
			房重(g)	771	
			粒重(g)	17.4	

◎特に有望

### 3 技術の効果およびコスト

○新しく導入する品種の選定に参考となります。

○直売所等での販売額増加、販売期間の拡大が期待されます。

### 4 留意点など

○供試樹は、樹齢3～4年生の若木であり、房重などの果実特性は成木と異なる場合があります。

○施肥は春肥にそさい3号(N:45g/樹)、礼肥に燐硝安加里S226号(N:36g/樹)およびハイグリーンを施用しました。

○新梢管理、摘心等は、「福井県ブドウ栽培マニュアル」に準じて行いました。

#### [その他]

研究課題名：直売・観光で売れるイチジクとブドウの品種選抜と、イチジクの長期どり作型の開発

研究期間：平成25～27年度

研究担当者：農試 園研センター ウメ・果樹G 森川知彦、吉田貴寿